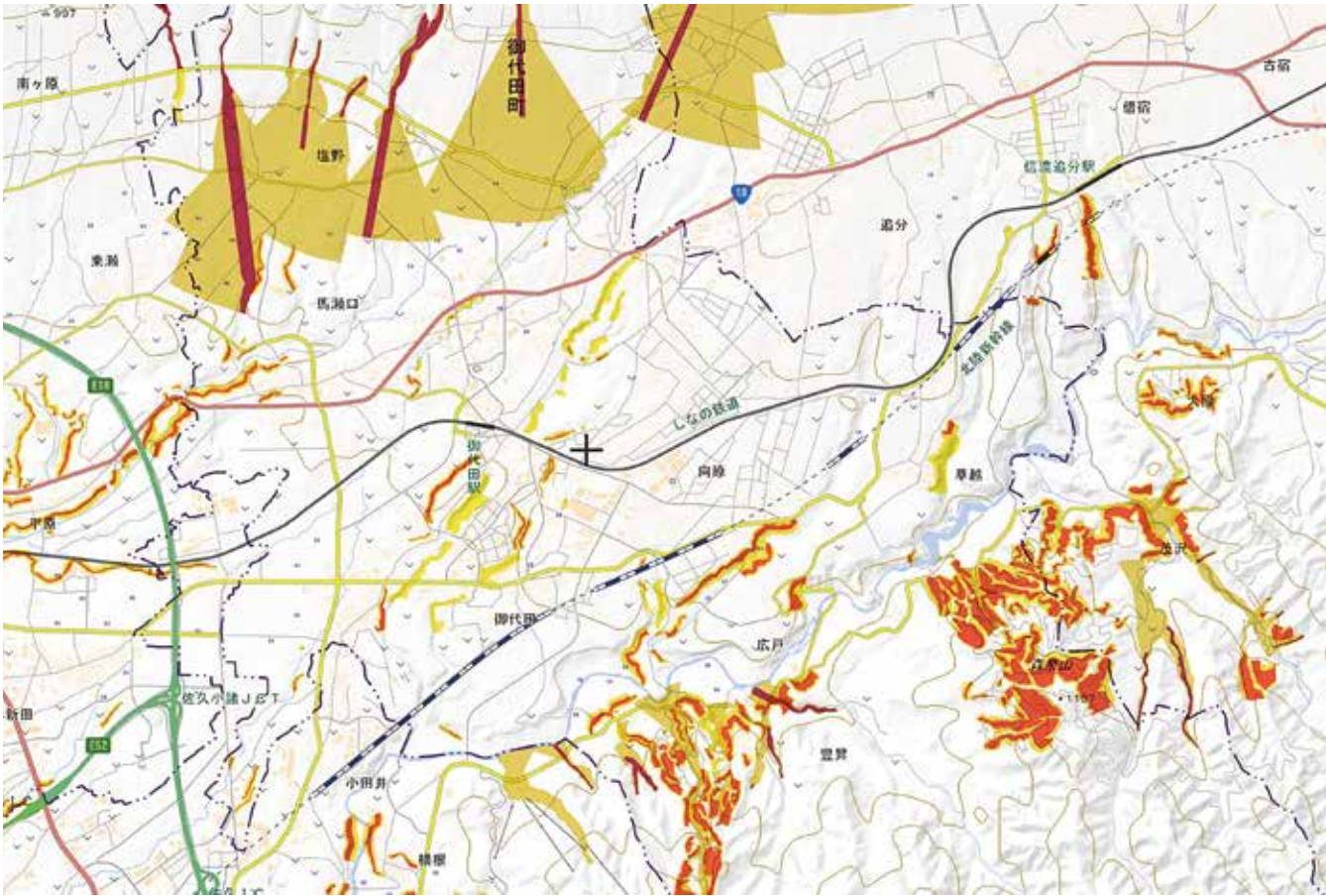


土砂災害危険地域



凡例
■ 土石流 (特別警戒地域) ■ がけ崩れ (急傾斜地特別警戒地域)
■ 土石流 (警戒地域) ■ がけ崩れ (急傾斜地警戒地域)

落雷にも注意しよう!

6～8月は雷雨の多い時期です。

雷の音が聞こえたら・・・



問い合わせ先 総務課情報防災係 (32) 3111

6月は「土砂災害防止月間」です

初夏から秋にかけては、大雨、洪水、暴風などによる自然災害が発生しやすい季節です。災害時は気象庁などが発表する防災気象情報を有効に活用し、早め早めの防災行動を心がけましょう。

土砂災害の種類と前触れ

土石流 谷筋で起きるので、スピードが非常に早く大きな破壊力があります。	がけ崩れ 急な斜面で突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちです。	地すべり 広い範囲の地盤が動き出すので、速度は緩やかですが大きな被害をもたらします。
前触れ - 山鳴り、地鳴り - 流木発生、転石音 - 水位の急激な低下 - ものの腐った臭い (腐葉土、下肥など)	前触れ - 水が湧き出る - 小石がぱらぱら落下 - 湧水が止まる - 地鳴り、木根のちぎれ、岩の割れる音	前触れ - 地面にひび割れ - 井戸、沢の水が濁る - 斜面から水が噴出 - 樹木が傾いたり、倒れたりする

雨の強さと降り方

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
イメージ					
用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
感じ方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感で恐怖を感じる
災害の可能性	長く続く時は、注意が必要	側溝、下水などがあふれ、小規模ながけ崩れが始まる	がけ崩れの可能性あり避難が必要	土砂災害が起きる危険性が高い必ず避難を	大規模災害の危険性極めて高い厳重な警戒を